

## FRB のテーパリングへの移行を市場は素直に受け止める

本稿は、PGIM フィクスト・インカム のチーフ・ストラテジストであるロバート・ティップが7月28日に執筆したブログ “MARKETS TAKE FED'S STEP TO TAPERING IN STRIDE” の内容を PGIM ジャパン株式会社が翻訳したものであり、情報提供のみを目的として作成されたものです。

今回の FOMC では特に目をひくような大きなニュースはなかったが、非常に成功したと言える。つまり、FRB は量的緩和策による債券購入のテーパリングに向けて、何の問題もなく一步を踏み出すことができた。我々は、年内にテーパリングが行われる可能性が高いと考えてきたが、本日の会合により、FRB はその方向に一步前進した。そしておそらく最も重要なことは、FRB がテーパリングを事前に約束することなく、さらに特筆すべきことに、市場を混乱させることなく、この一步を踏み出したことであり、関係者全員にとって好ましいことである。今後の市場に関して言えば、今回の結果は、金利は低いレンジで推移し、利回りの追求は今後数四半期も続くという当社の見方と整合的である。

## 留意事項

本資料に記載の内容は、PGIM フィクスト・インカムが作成した“MARKETS TAKE FED'S STEP TO TAPERING IN STRIDE”をPGIMジャパン株式会社が翻訳したものです。PGIMフィクスト・インカムは、米国SEC の登録投資顧問会社であるPGIM インクのパブリック債券運用部門です。

本資料は、プロの投資家を対象としたものです。すべての投資にはリスクが伴い、当初元本を上回る損失が生じる可能性があります。

本資料は、当グループの資産運用ビジネスに関する情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品の勧誘又は販売を目的としたものではありません。また、本案内に記載された内容等については今後変更されることもあります。

本資料に記載されている市場動向等は現時点での見解であり、事前の通知なしに変更されることがあります。また、その結果の確実性を表明するものではなく、将来の市場環境の変動等を保証するものでもありません。

本資料に記載されている市場関連データ及び情報等は信頼できると判断した各種情報源から入手したのですが、その情報の正確性、確実性について当社が保証するものではありません。過去の運用実績は必ずしも将来の運用成果等を保証するものではありません。

本資料は法務、会計、税務上のアドバイスあるいは投資推奨等を行うために作成されたものではありません。

当社による事前承諾なしに、本資料の一部または全部を複製することは堅くお断り致します。

“Prudential”、“PGIM”、それぞれのロゴおよびロック・シンボルは、プルデンシャル・ファイナンシャル・インクおよびその関連会社のサービスマークであり、多数の国・地域で登録されています。PGIMジャパン株式会社は、世界最大級の金融サービス機関プルデンシャル・ファイナンシャルの一員であり、英国プルデンシャル社とはなんら関係がありません。

PGIMジャパン株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第392号  
加入協会 一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会  
PGIMJ83572